

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度 第1回 福津市男女共同参画審議会
開催日時	令和7年7月24日(木) 午後7時00分～午後8時40分
開催場所	本館2階 庁議室
出席委員	■横山 美栄子 ■山下 永子 ■三牧 誠 ■野口 陽平 ■岩田 茂 ■宗岡 正枝 ■松尾 佳子 ■田島 勝彦 ■末岡 さおり
欠席委員	松尾 光浩
所管課職員氏名	市民生活部長 平田 健三 男女共同参画推進室室長 吉村 隆之 男女共同参画係長 末廣 要 男女共同参画係 花田 智子
会議議題	○委嘱状交付 ○会長、副会長の互選 ① 令和6年度男女共同参画推進室の取り組みについて ・令和6年度重点項目の報告について ② 令和7年度の男女共同参画推進室の取り組みについて ・令和7年度重点項目について ・令和7年度の事業について ③第2次「男女共同参画プラン・ふくつ」推進事業実施状況について ④その他
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0名
資料の名称	【資料1】令和6年度重点項目の報告 【資料2】令和7年度男女共同参画推進事業(重点項目)(案) 【資料3】令和7年度男女共同参画推進事業の予定について 【資料4】令和6年度男女共同参画推進事業実施状況一覧・シート 【資料5】福津市男女共同参画審議会年間予定 【資料6】男女がともに歩むまちづくり推進モデル 【資料7】市民意識調査の概要
会議録の作成方針	要点筆記によるまとめ
	記載内容の確認方法 会議録署名人: 横山 美栄子
<b>審議内容</b>	
<b>1. 委嘱状交付</b> 市民生活部長挨拶 各委員に委嘱状を交付 令和7年7月24日から令和9年3月31日まで	

## 2.事務局紹介

事務局より自己紹介

## 3.委員の自己紹介

各委員からの自己紹介

## 4.会長、副会長の互選及び会長あいさつ

※立候補者を募ったがいなかったため、事務局に一任することが承認される。

※事務局提案として、会長に横山美栄子委員、副会長に三牧誠委員を提案後、全委員から承認。

～説明、確認等～

本会議の成立宣言を行います。

福津市男女共同参画審議会規則第3条第1項の規定により、委員の半数以上の出席で会が成立します。本日は、委員10名中9名の出席をいただいておりますので、本審議会は成立したことを報告いたします。福津市付属機関の会議の公開に関する要綱9条第2項の規定に準じ、会議録を作成するときは、会長が指定した者により会議の確認を得るものとする事となっておりますので、会長により指名をお願いします。

【横山会長】

初回ですので会長の私がします。それ以降は回していきます。

【事務局（未廣）】

本審議会は公開となっております。今回は傍聴人がいらっしゃいませんので、このまま次第に入らせていただきます。

この後の進行につきましては、福津市男女共同参画審議会規則第2条第2項の規定により、横山会長をお願いします。

【横山会長】

始めに本審議会の趣旨について説明します。

福津市が取り組んでいる男女共同参画について、計画や取り組みがあります。市の取り組みについて、審議会として順調に進んでいるか、変えていった方がいいというような意見を市長に対して具申（答申）する、あるいは市長のほうから諮問があればそれに対して答申することが、この審議会の目的となっています。

活発なご意見をお願いします。

【田島委員】

市長からの諮問があるという話ですが、今回は市長からの諮問はなかったのでしょうか。

【横山会長】

具体的なことは、どうでしょうか。

【事務局（未廣）】

この審議会自体諮問を、受け賜って行っているものです。

【田島委員】

その他、別に市長がお考えになったことがあるのではないですか。

【事務局（末廣）】

それはないです。

【田島委員】

ないということですね。分かりました。

【横山会長】

記録、議事録の作成のために録音させていただきます。写真も差支えない程度で撮らせていただきます。では、次第の5に入ります。

【事務局（末廣）】

資料1（令和6年度男女共同参画推進室の取り組みについては省略。）

資料2の令和7年度男女共同参画推進事業の重点項目（案）について説明。

【横山会長】

これについてご意見ないでしょうか。配布されているものに目を通してください。

【田島委員】

本日配布されている資料が大量にありますが、自分は事前に紙ベースの資料に目を通して、ある程度、中身を吟味して審議会に臨みたいですが、当日、資料を配布するのなら事前に郵送していただいた方がしっくり目を通せます。他に4つの審議委員会に所属していますが事前に全部、郵送されてきます。事務局の意見を伺いたいです。皆さんの意見もお聞きしたいです。

【事務局（末廣）】

資料は1週間前にメールで皆さんにお送りしました。

【田島委員】

こんな沢山の資料をメールで送るのはどうでしょう。

【事務局（末廣）】

沢山あるのでメールという形で行いました。スマートフォンなどでしたら確かに見にくいかもしれません。

【田島委員】

メールの送付ではなく、紙ベースで事前郵送していただいて、しっかり目を通して、少しでもお役に立ちたいのです。

【松尾（佳）委員】

私もメールのパスワードが開かなくて、いくつもパスワードが送ってきて、どのパスワード入れても開けなかったです。

**【事務局（末廣）】**

パスワードについて説明。

**【岩田委員】**

私は職業柄、メールの方が助かります。紙がいい方は事前に希望をとられて対応されればいいのではないのでしょうか。

**【田島委員】**

希望する人は紙で送ってもらえますか。

**【事務局（事務局）】**

分かりました。そうします。

**【宗岡委員】**

私も苦手でしたが、出来るようになりました。やっていくうちに少しずつ慣れてきました。学校に勤めているときに印刷代、紙代の節約を言われていたので、推進室が言われていることの理解はできます。推進室にやり方を教えてもらい今は出来るようになりました。どの方法で送ってもらうのかを、事務局で各委員に聞いてもらえるといいのではないかと思います。

**【横山会長】**

では、希望を取っていただく形で対応をお願いします。

6年度の項目と比較しつつ、7年度の重点項目（案）についてご意見をお願いします。

まず、啓発についてです。具体的なものとして啓発冊子等の活用。福津市は福岡県の中でもいち早く取り組んだところですので是非、プランに目を通してください。条例も載っております。

2つ目に男女共同参画宣言都市関連事業の充実。9月に男女共同参画都市宣言記念講演会、学校の取り組みの一行詩、推進モデルを実施するという事です。広報誌、ホームページ、公式ラインによる啓発の充実。地域への意識啓発の充実では、講座、出前講座の開設。地域への啓発というところで、これはコミュニティーセンターでの講座ですか？

**【事務局（末廣）】**

郷づくりや企業など、要請組織へ指定された場所に出向いて講座を行うものです。

**【横山会長】**

男女共同参画地域推進員と通じての郷づくりに講座の開催を働きかける、1番目の啓発についての意見はありますか。

2番目が暴力や虐待を許さない環境づくりの推進、意識の啓発を進めますということですか。

課長連絡会議、窓口連絡会議等これは今年、特別つくられたものですか。いつからあるものですか。

**【事務局（平田部長）】**

支援措置連絡会議は13年前から始まりました。現在は、関連部署課長も含めて連携していけるような会議に広がっています。今年度は、5月に1回目が終了しております。

**【横山会長】**

これについて、何かご意見ご質問はありませんか。

**【宗岡委員】**

毎年、お聞きしているのですが、啓発の推進というところでは、各郷づくりで講座が開催されるような働きかけをされているようですが、開催された形跡がありません。8つある郷づくりで、どのくらい開催されていますか。

**【事務局（末廣）】**

令和6年度には開かれておりません。

**【宗岡委員】**

地域推進員の方に研修は受けたという話は聞きますが、持ち帰ってどうやって講座を開いたら良いのか分からないという事を言われています。

郷づくりで地域に広めないといけないという意識がありません。私も関わろうと思い、地域郷づくりの広報誌で「福津市は男女共同参画宣言都市です」という記事を載せようと企画したら、止められた経緯があります。どうしてよいか分からないのです。郷づくりに後押しをしてくださいという話を毎年するのですが、何もされていません。

男女共同参画推進室が、どういう部署なのかお聞きしたいです。

**【事務局（末廣）】**

もちろん、地域に男女共同参画の考え方等を地域の役員さんに対して、女性活躍推進などの啓発をお願いしています。

また、講座の依頼があれば、当室は地域に伺います。

**【宗岡委員】**

お願いしたら来てくださるのですか。

**【事務局（末廣）】**

啓発になる講座をしてくださいという依頼があれば行きます。

**【横山会長】**

要望があれば講座を開くということですね。

**【宗岡委員】**

郷づくりの方が、どういう意識か、ということですね。

**【事務局（末廣）】**

例えば、今年度は各郷づくり地域推進員さんと、春日市の「あすばる」主催「男女共同参画視点の災害対応力向上講座」に公用バスを使って行ってきました。地域推進員さんからの依頼を待つのではなく、推進室の方から呼びかけて、研修に参加してきました。

**【横山会長】**

こういう取り組みをやっていますということが、フィードバックされると審議会も出した意見が変わっているということが分かりやすいので、このようなやり取りをもっと増やしていきましょう。

他にありますでしょうか。

暴力や虐待の方に入っていますけれども、被害者の保護自立支援制度の周知と情報提供は、各課と連携をしながらということですね。被害者の保護自立支援の体制の充実ということです。先ほど、言われた窓口担当者連絡会議です。これについては、何かありませんか？

3番目が、プランの進捗管理及び推進体制の確立ということです。次期のプランを策定していかななくてはなりませんので、第2次男女共同参画プランの施策89の男女共同参画社会に関する住民意識調査の実施ということと、プランの策定見直しというのが重点項目に挙げられています。

ご質問ありましたらお願いします。

この後にも係わってくるとは思いますのでお願いします。

令和7年度の男女共同参画推進事業予定、「資料3」の説明について説明をお願いします。

**【事務局（未廣）】**

事務局より「資料3」推進事業について説明。

**【横山会長】**

この報告についてのご意見、ご質問ありませんか。

では、男女共同参画推進事業実施状況一覧・シートの説明をお願いします。

**【事務局（未廣）】**

事務局より「資料4」の「R6男女共同参画推進事業実施状況一覧・シート」説明。

**【三牧委員】**

昨年からの改善点を皆さんに報告してもらってよろしいでしょうか。昨年は、これが1つのシートだったのですが今回2つに分割して、項目が増えたという経緯があったと思います。この表がどうして別れたかということが、分かりづらいと思います。

**【事務局（未廣）】**

事務局より説明。

**【横山会長】**

これは年度末に記入という形ですね。

今までは新しい年度にずれ込んでいたので、少し違和感があったということですね。

これについて委員の皆様にご意見をいただく形になります。

一人ひとり割り当てをして書いていただくわけですが、最後は全部ひとまとめにして審議会全体の意見として市長にお返しするという流れになっています。89項目一つ一つ大きな目標があってその中に細かな項目が来ています。

大きな項目ではなく、その中に各課がどう行っていて、どういう課題に取り組んでいるかという作りになっています。

**【三牧委員】**

(第2次男女共同参画プラン概要版の冊子を持ち)この表は、目標計画の表題のところと、全てリンクしている内容になっています。

**【横山会長】**

この、大きな内容を来年度、見直しをしていくということもありますので、そのあたりを意識しながら実施状況を見ていただくようお願いします。

担当割り振りが出来ていますが、担当を意識せずに関心のある所は、意見を言っていて全体を見ていただきたいと思っています。

もう少し事務局より説明お願いします。

**【事務局(末廣)】**

事務局より説明。

**【宗岡委員】**

例えば、担当課がB評価につけていて活動内容を書かれたとしても、委員は実際の具体的な取り組みは分かりません。

**【事務局(末廣)】**

そこは、担当課が記入してあるような取り組みをしたということで、判断材料の1つにしていきたいと思います。

**【宗岡委員】**

担当課が取り組みをして、どのように生かして、効果があったか、どのような事業が出来たか、委員はどう捉えればよいか分かりません。

**【事務局(平田部長)】**

取り組みに対して評価をするという形になりますので、あくまでも目標、事業概要があり、それに対して、この部署はこういう形で取り組みをさせていただき、問題点や工夫点を記入する欄がございます。取り組んだけれども、こういう問題点があり、課題もあるというところ、そのバランスで評価をしていただければと考えております。

**【横山会長】**

この項目の大きな目標は意識啓発なので、それをもとに何か取り組みました、という形になれば成果があがったということです。審議会の意見を記入する欄はありますので、成果が分かるようなことが必要だと書いていただければと思います。

**【末岡委員】**

担当部署の評価がBで、委員もその通りだと思ったらBを書くのですか。それともAを書くのですか。

**【事務局(末廣)】**

そこはお任せします。よく出来ているなと思えばAをつけられてもいいと思います。

**【末岡委員】**

これは謙遜しているんだなと思えば A をつけても良いということですね。

私が思う評価、自己評価が低すぎるのではないかと、いうつけ方でいいということですね。逆に自己評価が高すぎると思えば C をつけても良いということですね。

**【事務局（末廣）】**

そういうことです。

**【横山会長】**

一度は、この実施状況一覧をもって話し合ったほうが良いと思います。意見をまとめないといけないと思っています。

**【岩田委員】**

流れから言うと、この実施状況の各担当課が事業内容、自己評価されたものが、年度末に我々のところにきて、評価を記入してそして「資料4」の4-2の意見を記入するというのでしょうか。

**【横山会長】**

実施状況一覧は、本来は7年度の目標に反映したいのですが審議会が、そういう流れになっておらず、すでに7年度の目標が立っていて実施もされています。今回は、6年度の評価をしていただくということです。すでに、7年度の目標が出ているので、委員の意見として7年度の目標が弱いのではないかと、いうことを記入していただいても良い訳です。

委員の担当割りが出ていますので確認後、これはと思うことがあれば私に言ってください。事務局と相談します。

**【事務局（末廣）】**

委員意見の担当割りについては、なるべく、ご専門の項目で担当割りしています。

**【田島委員】**

私は3期目なのですが、審議会の意見は全く反映されていないということです。例えば、実施状況一覧シートの事業番号69の投票率を高めるところで、私は過去2回ほど大型商業施設での投票所の設置をしたらよいのではないかと、いう意見を書きましたが、未だに設置されていません。ということは私たちの意見が全く反映されてないということが分かりました。

**【事務局（平田部長）】**

投票所の件は、内部的な俎上には上がっております。実際には、整備をしたり、長期に借りたり、いくつか検討しなければならないことがございます。宗像市、古賀市は商業施設で行っているところもあります。実際の選挙投票率向上を考えれば大変有難いご意見ですが、なかなか実施できない現状がございます。決して委員の皆様のご意見を無視している訳ではございません。検討はしておりますし、前市長も実施したいという話はしていましたが、実際は実現が難しいところで申し訳なく思っております。

**【横山会長】**

これについて何かご質問はありませんか。

【末岡委員】

これは、いつまでに返答するのですか。

【横山会長】

実施一覧について、どのような形で回答すればよいのか説明していただいでよろしいでしょうか。

【事務局(末廣)】

提出期限を8月31日までにしております。この数日のうちにエクセルシートを委員のみなさんにメールでお送りします。そのエクセルシートに先ほど言いました、資料4-①、②の評価と意見の部分に入力していただき返信してください。

【横山会長】

それではメールで送られてきますので、ご意見を入力されて返信してください。

【野口委員】

あくまでも、このシートを元に評価するという事でよろしいでしょうか。例えば中身について、もう少し聞きたいということがあったら直接、お問い合わせさせていただいてよろしいでしょうか。

【事務局(末廣)】

直接、担当課にお問い合わせのもいいですが一旦、事務局にお問い合わせされて事務局から担当課に、おつなぎする方がスムーズかと思います。

【末岡委員】

取り組みの内容などホームページに掲載されていますか。QRコードなどで調べられたら便利だと思うのですが。どういう事業をしたのかイメージが出来にくいので視覚的にイメージ出来るものが欲しいと思いました。

【事務局(平田部長)】

項目によっては調べて出てくるものはあると思います。例えば子育ての事業など事業化されているもの、あるいは、ホットラインなどの活用概要は、ホームページから検索出来る項目も少なくはないのではないかと思います。

【横山会長】

では、分からないことがありましたら質問してください。

審議会年間予定、推進モデル、市民意識調査について説明をお願いします。

【事務局(末廣)】

事務局より説明

【横山会長】

これについては、いかがでしょうか。

**【田島委員】**

来年、このメンバーで第3次プランを作るわけですが、前回、第2次のプランを作った時も年間5回審議会を開催しております。今年は、3回開催ということですけど、第3次を作るにあたって、回数は5.6回は予定しているということですか。

今年と同じ3回では、とても出来ないと思います。

**【事務局(末廣)】**

令和8年度の計画は5回予定しております。

**【田島委員】**

分かりました。

**【宗岡委員】**

昨年度は第1回審議会が6月26日で、取りまとめが9月だったのですが、内容が多くて大変でした。今回は1ヶ月程しか余裕がないのですが。

**【事務局(末廣)】**

これは、多少遅れたとしても、事業計画には影響はありません。その時は連絡くだされば、配慮します。

**【横山会長】**

全体の審議会の意見としての取りまとめが、12月の1回だけでいいのかなと考えます。3ヵ月程、間が空いています。1回の会議で2時間で、すり合わせがつくのか不安です。私としては委員の皆さんが、書かれたもの一旦返して、まとめたものを確認する。そして、委員の皆さんが特に関心のある項目など見ていただいて、追加の意見などを入れた方がいいと思います。

担当の所だけではなく、委員の皆さんが全体を見ていただく方がいいと思います。最終的に12月に確定になればいいと思いますので、9月、10月くらいまでには、まとめた物をお返しするという形はどうでしょうか。

その形でしたら、審議会を開催しなくても情報共有ができます。意見を書いたら終わりになる感じになってしまうようで危惧しています。実際にこの間、途中で言った意見を令和7年度の事業に反映してもらいたいというご意見もありました。そこは、実際難しいのかもしれませんが、少なくともここで共有していると次のプランに反映されやすいかと思います。入力してまとめたものはメールで返してもらう形でよろしいですか。

**【事務局(末廣)】**

一旦、まとめた「結果」を皆さんにお知らせするということですね。

それに、追加意見があれば、入れていただくということですね。

そのやり取りを行った後に第2回審議会を開催するのですが、89項目が多いので皆さんが評価したものをピックアップして審議していきたいと考えております。ピックアップする項目は、事務局と会長、副会長と話し合っ、2回目の審議会で話したいと思います。

**【横山会長】**

では、推進モデルの説明をお願いします。

【事務局(末廣)】

事務局より、推進モデルについて説明。

【田島委員】

これは何か表彰などあるのでしょうか。

【事務局(末廣)】

12月の人権講演会で表彰されます。

【横山会長】

審議委員のみなさんからも推薦されるような方がいらっしゃいましたら是非よろしくお願いします。  
では、次の説明をお願いします。

【事務局】

事務局より「資料7」市民意識調査の概要の説明。

【横山会長】

これについて何かご意見ご質問はありませんか。

【山下委員】

すでに事務局とお話させていただいていますが、これについては過去のものとは、比較は出来ません。手法も違いますし、2,000 配って 900 と、今度は 2,000 配って 500 みたいなものとの比較も難しいです。今回の Web アンケート、これは回答の途中で離脱が出来ます。調査票設計はかなり工夫されたと思うのですが、修正しているの、後でみてください。

私はこの分野においては、かなり専門家だと思います。分析をとっても心配されているのでしたら、うちの大学の共同研究という形、地域との連携という形で、ご相談ください。一緒にデータを使わせていただくかたちで無償で行うこともできます。福津市さんとうちの大学は連携していますか。

以前、宗像市さんとも共同研究で、その時は幾ばくかのお金はいただきましたが、少額でも無償でも一緒にやるという形をとれば、大学側は、地域貢献という実績になります。そういった形で大学にご相談ください。500 サンプルでしかも、初めての Web 調査は、紙ベースと全然違いますので、そこは専門家を入れて実施しないといけないと思います。それが今後 10 年の基盤データになるという事を考えると過去の調査と同じでは内容が、ちょっと古いものになってしまいます。

推進室が、過去の調査票の中から比較できるものを残されたことはすごく努力してあると思います。

ジェンダー研究所さんは NPO でお仕事をされているから無償でというのは出来ない部分もあると思います。会長も、ご専門なので、相談されるのもいいかと思います。本学に相談されてみて、ジェンダー専門家は、現在いないかもしれませんが、社会調査の専門の先生はいます。是非、専門家にご相談ください。

この調査は、そもそも夫婦でいることが前提の質問があり、地域活動したことがあることを聞かずに、地域活動についてどうですかという質問を、永遠に聞かされてるのは離脱の原因になります。それを回避できるというのが Web 調査のいいところです。自分に関係ない設問は、どんどん飛ばせるという Web 調査ならではの作りこみが出来るので、是非ご相談してください。

【横山会長】

私も分析のところはお手伝いします。

無作為抽出の部分ですが、単純に無作為抽出になってしまうと、これは不味いことだと思っています。層化抽出でなければなりません。男女同数、年齢層、地域までは難しいと思いますが。せめて、年齢層までは、いくつか分けて抽出しないとイケないと、データとして使えなくなる可能性があります。

【山下委員】

3分の1位が独身世帯のはずですので、関係のない人達が答えないとイケないことになります。

高齢で、ひと昔前に仕事を辞めて、一人世帯になった人達が、回答するという事になってしまう設計になっています。30代の子育て中で、共働きしている世帯は、回答をしにくい。回答したとしても不愉快になるという可能性があります。

【横山会長】

その意見は私たちで一旦、やり取りさせていただいてよろしいでしょうか。

【三牧委員】

今の件ですが、私も同じ考えで分析を全て同じ部署で行うのは危険だと思います。第三者の考えを入れないとイケないですし、レビューが効かないということもあると思います。皆さんがよろしければ、この会の総意として、ここは外部の方を入れてくださいという話が良いと思います。

それは付加的なものだけでなく、今後の10年、5年に関わるのです。将来に禍根を残すことになりうる大事な部分だと思います。無償だけではなく、外部の専門家を入れてください。今後の福津市のためにもなると思います。

審議会の意見としてあげていただきたいです。

【横山会長】

市長にお願いしていただきたいです。予算が取れなかったということかもしれませんが、必要なことだと思います。

【事務局（平田部長）】

会長、副会長に大変ありがとうございましたご提案をいただきました。計画を自前で作るということが、市の全体の方針として今年度から始まりました。ただ、どうしても市職員は、それなりのノウハウを持って作ろうとしていますが、至らない点が十分あると思います。そういったところを知見のある方々のご意見をいただく、共同という形でということは、非常に有難い話でございます。そういった件に関しましては、我々もぜひともお願いしたいと思っておりますし、そのような形で検討させていただきたいと思っております。

【横山会長】

ぜひよろしくお願いたします。

これで、大体審議すべきことは終わったと思います。

皆さん、何かありますか。

【田島委員】

「第2次男女共同参画プラン・ふくつ」の60ページ、「男女がともに歩むまちづくり基本条例第9条」に

年次報告書というものがあります。年次報告書を公表するものと明記されていますが、これはどこで見られますか。ホームページで見られますか？

【事務局（花田）】

はい。ホームページで見られます。

【横山会長】

今日は、第1回目審議会にも関わらずご協力、活発なご意見いただきありがとうございます。  
次回の開催日をここで決めた方がよろしいでしょうか。

【事務局（末廣）】

今回は、11月下旬か12月上旬にさせていただきたいと思います。日程調整は後日メールでお知らせさせていただきます。

【横山会長】

実施状況一覧の審議会意見のご記入は8月末までをお願いします。  
これで第1回審議会を終了いたします。  
皆さんありがとうございました。